明生小学校(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第5回 明生小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和 6年 12月 13日(金) 10:00 ~ 12:00

2 場 所 会議室 各教室

3 あいさつ(学校長)

○今日は今年度の学校評価をいただきたい。評価項目は、

- ①学力向上×ICT 活用
- ②長期欠席対策
- ③地域連携
- ④非認知能力の育成
- ⑤人権教育の推進

の5つ。以前いただいたものに加えて、今日の授業参観、学校だより、日頃来校された時の様子等をふまえて、評価をよろしくお願ひします。

4 協議内容

(1) 今後の学校支援について

○1月9日(木) もちつき 1限~3限

・主催は町民会議。明生小学校運営協議会委員とボランティアの支援による。

(2) 学校関係者評価について

○学力向上×ICT 活用

- ・学校から持ち帰った端末でゲームばかりしている子どもがいるときいた。対策が必要。
- ・自習がきちんとできている。終わりの挨拶まで自分たちでできる。授業規律が身につけているのはこれまでの取組の成果だと思う。1年生も2学期が終わる頃には成長が見える。
- ・ICTを活用したグループ討議もある。いろいろな方法で討議をすることができる。
- ・グループ討議でもっと積極的に話し合えたら良いと思う。おとなしい。

○長期欠席対策

- ・なぜ欠席しているのか、理由をつかんでもらっている。子どもにに応じて必要なケアをしてもらっている。今後もSC等を大いに活用しながら、地道に進めてもらうしかない。

○地域連携

- ・運動会で今年度のような、地域の人や保護者が子どもたちと一緒に参加できる機会を増やして、「みんなで楽しみましょう」という雰囲気をつくっていただけたら良いと思う。
- ・自治会に対する働きかけをしっかりと行っていく。

○非認知能力の育成

- ・様々な体験を経験する機会を増やしてあげる。その中で自分の得意なことや将来につながるものを発見できるかもしれない。
- ・休み時間に上級生が下級生のところにきてハグしている姿がある。お互いの心の中できっと何かが育っていると思う。

○人権教育の推進

- ・人権問題は大人になっても難しい問題。でも教えていかなければならない。地道にあきらめずに取り組んでいく必要がある。
- ・仲間の大切さを実感できる行事を無理のない程度に行っていかなければならない。
- ・被災した人たちは人権問題について身をもって体験するという。それほどの出来事がなければ、なかなか難しいものなのかもしれない。